

Vol.19

神戸市会議員

「おーい」と呼んでください。いつでもどこへでも直ぐに駆けつけます。

大井としひろ 市議会ニュース



民主党神戸市会議員団／神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL078-322-5844 FAX078-322-6161

安心・安全、住みよい須磨の街づくりに全力投球！

神戸市会議員（須磨区）
総務財政委員会委員長

大井としひろ

第一回定例神戸市会報告 敬老バスの利用者負担額

神戸市バス50円他の付帯決議をつけて民主党他で可決 当初神戸市案のさらに半額を提案 矢田市長 協議が大詰めを迎えていることを明らかに！

2月21日から始まりました第一回神戸市定例市会も3月27日に定例市会第五日が開催され、平成二十年度予算案など計125議案を可決して閉会しました。

また、今回の市会で、高齢者の皆様を中心たくさんの請願や陳情を頂いておりました「高齢者優待乗車制度」について、敬老優待乗車制度の激変緩和処置として、当分の間、市バス、民間バス（神鉄、山陽、神姫、阪神、阪急）料金を当初案の半分すなわち一回乗車賃50円、神戸市営地下鉄、新交通（ポートライナー、六甲ライナー）は小児料金の半分にする。との付帯決議をつけて原案を認めて可決をしました。

これを受け、矢田市長は市会閉会の挨拶の中で、「県バス協会長と協議した。昨日、他社との協議は残っているが、二年間に限定であれば協議に応じたいとの返事をもらった。激変緩和の実現に向けて、早期に決着してまいりたい。」と、決意を述べられた。

最終の決定ではありませんが、これで、神戸市バス、民間バスへの70歳以上の高齢者の方々の乗車は、10月から50円の負担で乗車、市営地下鉄やポートライナー、六甲ライナーは、子ども料金の半額で乗っていただけるようになります。神戸市の当初案の半額での乗車となります。

予算特別委員会から

3月4日の火曜日の神戸市予算特別委員会で「みなと総局」関係を集中して審議しました。

民主党を代表して、「みなと総局」関係を大井としひろ議員が代表質疑を行いました。（質疑要旨）

Q1 神戸港の国際競争力について

神戸港は、今年開港から140年を迎えた。1980年に世界第3位であったコンテナ取扱量は、現在では、30位以下と低迷している。神戸港の復権及び他港との競争力に打ち勝つことの出来る国際競争力を徐々にではあるがつつつあるように感じる。神戸港が活況を呈してきていることが読み取れるが、「スーパー中枢港湾構想」などの諸策を施して神戸港の国際競争力が、どの程度盛り返せるのか具体的な数字を挙げて御教示願いたい。

（※スーパー中枢港湾：香港やシンガポールなどのアジア主要港に比べて、コンテナ貨物の取扱量が低迷していることから、国土交通省が指定港湾を国際拠点港として育成するプロジェクト。予算の重点配分や規制緩和でターミナルの大型化や利用コストの3割削減、貨物取り扱いのスピードアップなどを進め国際競争力を高める。）

みなと総局長答弁

コンテナの取扱個数は平成6年の292万TEUに対して19年は246万TEUと見込みではあるが5年連続で増加し、80%以上に回復している。輸出入額では、平成6年度の7兆1千億円に対して6年連続で増加、19年は9兆2千億円、平成6年に比べ130%となり、過去最高額となっている。

まず今年、平成20年の250万TEU達成という目標を最優先にしていきたい。簡単なことではないが、危機感を持って積極的に港勢回復に努めてまいりたい。

（※TEU：コンテナ船の積載能力を示す単位。1TEUは、20フィートコンテナ1個分を示す）

Q2 神戸埠頭公社の民営化について

公社民営化などの「埠頭公社改革」などにより「世界トップクラスのコスト・スピード・サービス水準を提供する公設民営方式の高規格コンテナターミナルを早期実現する」としたスーパー中枢港湾「阪神港」でターミナル管理、運営効率化に向けた神戸埠頭公社の改革推進について伺いたい。

みなと総局長答弁

関西経済の活性化に向けて、関西全体の産学官が一体となり取り組みを進めている国際物流戦略チームで政策提言が決定されている。公設民営方式とは、岸壁や埠頭用地の下物を公共で整備し、ガントリークレーンやヤード舗装等の上物を民営で整備する方式であり、これまでの公社とは大きく異なるものである。

公益法人改革の動向を引き続き見極めながら、次世代高規格コンテナターミナルの形成という観点も踏まえ、他の公社とも連携しながら民営化について対応を検討していきたい。

Q3 環境にやさしいモーダルシフト推進について

神戸で5月24日から開催される環境大臣会合に関連して地球温暖化防止策、環境問題への対応については、神戸港も積極的に関わってほしいと思う。環境に配慮した対策やモーダルシフト推進に向けた神戸市独自のインセンティブ制度があればその具体策について伺いたい。

（※モーダルシフト：トラック、航空機などの輸送を地球に優しく大量輸送が可能な海運または鉄道に転換することにより、省エネ効果、交通渋滞緩和、排気ガスによる大気汚染の削減、CO₂削減による地球温暖化防止が図られるといわれている。）（※インセンティブ：一定の条件を満たすことを条件に、報奨金を付けた契約のこと。）

みなと振興部参事答弁

物流業界においても平成17年2月の京都議定書の発効に伴い、CO₂排出量削減に向けた取り組みとして、モーダルシフトの取り組み推進が重要なテーマとなっている。

神戸市では、神戸港を利用する民間事業者のCO₂排出削減に向けたモーダルシフトの取り組みを支援するとともに瀬戸内海沿岸からの貨物の集荷促進する為に平成18年度から市単独で「モーダルシフト補助制度」を実施している。18年度は、陸送から海上輸送に切り替えた事業などが3件あり、CO₂削減量7500トンを達成した。



本会議場で、総務財政委員会委員長として、委員会報告を行なう大井としひろ議員

● 大井としひろプロフィール ●

1953年8月	大阪市阿倍野区生まれ	兵庫県尼崎市育ち
1972年	【小・中学校時代は、野球に夢中。】	
1972年3月	大阪浪速工業高校機械科卒業	【高校時代は、サッカーに夢中。サッカーで大阪代表として全国大会に出場するなど活躍する。】
1999年4月	三菱重工業株式会社神戸造船所入社	造船工作部外業課・勤労部福祉課・勤労部人事課で勤務
2003年4月	現在は、市会議員に専念（三菱重工神戸サッカーブラウジング）	休職中。（三菱重工業株）神戸造船所 総務部人事教育課主任
2007年4月	神戸市会議員選挙（須磨区）立候補、2,945票獲得	するも惜敗する。
	【家内とともに歩んだこの4年間は、私たち家族にとって忘れ難い貴重な財産です。「初心忘れるべからず！」】	
	神戸市会議員選挙（須磨区）立候補、5,186票の貴重な票を頂き、悲願の初当選を勝ち取る。	
	神戸市会議員選挙（須磨区）立候補、7,220票の貴重な票を頂き、二期目の厳しい選挙に勝利させていただきました。	

現在の役職・役員等（2008年4月現在）

神戸市会議員（2期目） 総務財政委員会委員長、大都市税財政制度確立委員会委員、市会運営委員会委員
所属議連：神戸市日中議員連盟、日韓議員連盟、日華議員連盟、神戸リガ友好議員連盟、神戸市觀光議員連盟、民主党政庫県連副幹事長、民主党須磨区支部副代表、兵庫民社協会 副会長、兵庫民社3区支部代表、富士政治大学校「高志会」副会長、連合兵庫 神戸政策フォーラム常任幹事、三菱重工労働組合嘱託、神戸市精神障害者家族連合会会長、神戸サブマリンクラブ同好会顧問、三菱重工神戸サッカーブラウジング、神戸市投輪連盟顧問、奥須磨公園にトントンを育てる会会員、吟道洲峰流顧問、ヴィッセル神戸励ます議員の会理事、神戸三田都市行政協議会委員、神戸三木都市行政協議会委員、神戸市新交通運営協議会委員、神戸市行財政改善懇談会委員、神戸市市民福祉調査委員会市民福祉顕彰選考専門分科会委員、神戸市民生委員推薦会区会委員、神戸市青少年育成協議会委員、神戸市民生活協同組合顧問、多井畠南町自治会顧問、神戸中央ライオンズクラブ会員、神戸西日協会会員他